

国土交通省 新技術評価技術 NETIS登録番号 QS-150017-A



超速硬型ポリマーセメントモルタル 太平洋 ゴムラテモルタル

超速硬型ポリマーセメントモルタル 太平洋 ゴムラテモルタル

ゴムラテモルタルは、超速硬特殊セメントのほか必要成分をあらかじめ調合したプレミックスタイプの粉体です。専用混和材を加えて練り混ぜるだけで、超速硬型ポリマーセメントモルタルを得ることができます。

内部の空隙をゴムで充填した ポリマーセメントモルタル



橋梁床版補修工事



橋梁床版補修工事



工場コンクリートスラブ上面補修工事



風力発電基礎部コンクリート補修工事

高い速硬性能 [DATA-1]

硬化時間が約60分と短いため、早期開放を必要とする道路橋・鉄道橋床版や工場・倉庫のスラブ上面などの補修に最適です。

優れた圧縮強度 [DATA-2]

高い圧縮強度を発現し既設床版と同等の静弾性係数を有しているため、応力が集中せず、劣化が生じにくくなります。

高い付着性 [DATA-3]

高い引張付着性能により、既設床版と強固な一体化を図ることができます。

安定した寸法変化 [DATA-4]

硬化時や乾燥による収縮が小さいため、ひび割れが生じにくく、既設床版との良好な接着を得ることができます。

高い耐久性 [DATA-5.6.7]

耐水性・耐アルカリ性に優れたポリマーディスパージョンの混和により、外部からの劣化因子（塩化物、炭酸ガス、水分）に抵抗、劣化を抑制して高い耐久性を維持します。



あらゆるシーン、 さまざまな環境に適応可能

優れた性能が証明する 多くの施工実績



道路橋床版コンクリートの 上面補修

床版のひび割れ、剥離等の補修も
短時間で施工可能、補修後の収縮
も抑制します。



床版防水施工時の 床版補修工事

床版補修、断面修復時にも、床版・
防水層と強固に一体化します。



倉庫・工場のコンクリート スラブ上面補修

優れた硬化性能により、スラブの
ひび割れ等の補修も短時間での
開放が可能です。



風力発電タワーの 耐久性を向上

風力発電タワー基礎部のコンク
リートの劣化損傷対策としても
有効、防水・耐摩耗性・せん断強度
を向上できます。



JR東日本：第二S跨道橋 〈2012年〉

鋼床版切替工事中において、防水層の保護モルタルとして採用されました。



国土交通省：中日本高速道路 S11IC 〈2012年〉

新設のPC橋梁において、床版の5～50mm全面増厚のため施工しました。

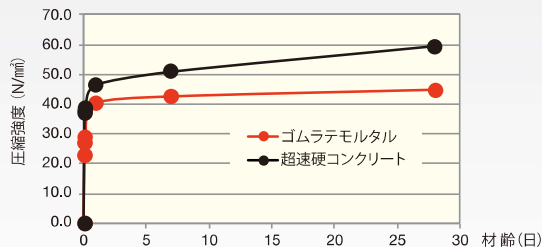


S市財政局：S川線橋梁補修工事 〈2012年〉

橋梁ジョイント部において、防水・耐摩耗性を考慮して採用されました。

高い性能を実証する多彩な実験データ

[DATA-1] 圧縮強度



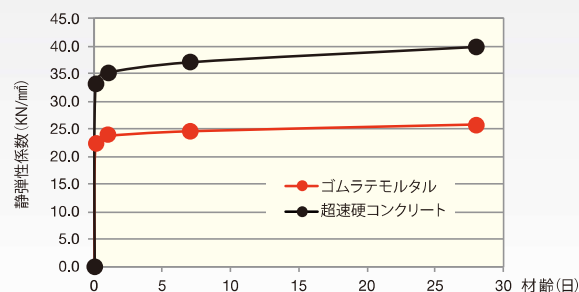
硬化時間

材齢4時間で24N/mm以上の早期強度発現性が得られ、急速施工にも対応可能。

強度発現

早期に交通可能な強度に達し、その後、既設床版と同様の強度を発現。

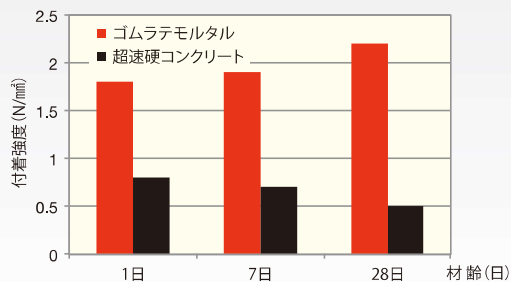
[DATA-2] 静弾性係数



一体性

既設床版と同様の特性を持ち、応力が集中せず一体性を保持。

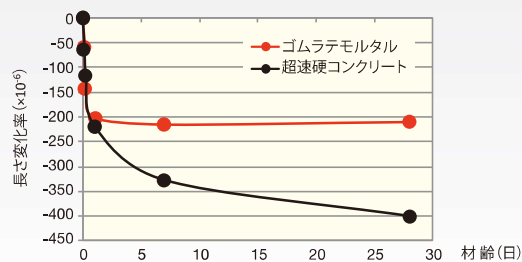
[DATA-3] 強度性状



付着性

早期に高い付着性能を発揮し、継続保持が可能。

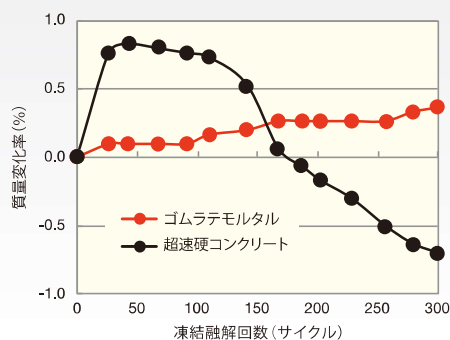
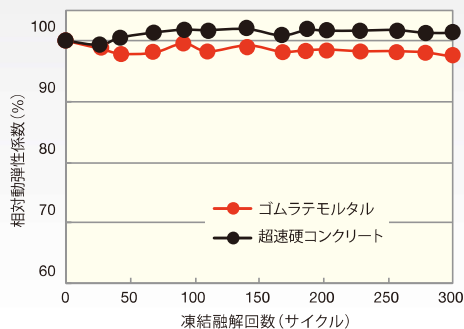
[DATA-4] 乾燥収縮



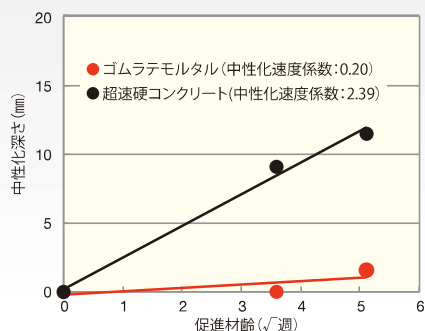
寸法安定性

打設から2時間経過後を基長とした乾燥収縮は少なく、また早期に乾燥収縮は収束する。

[DATA-5] 凍結融解

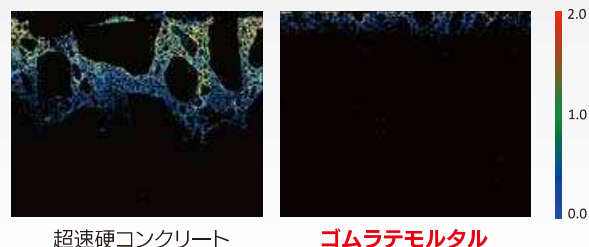


[DATA-6] 中性化



[DATA-7] 塩化物浸透

塩化物イオンの浸透深さ (常時浸漬 6ヶ月)



製品概要

荷姿

ゴムラテパウダー (25kg/袋)

ゴムラテ混和液 (18kg/缶)



標準配合

ゴムラテパウダー 25kg (1袋)

ゴムラテ混和液 2.8～3.2kg (標準3.0kg)

1袋あたりの練り上がり量: 約13.0L

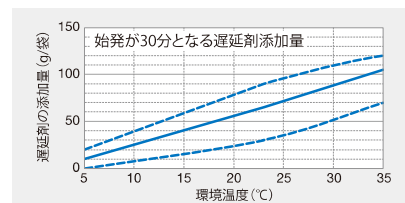
(ゴムラテ混和液の使用量3.0kg/袋により算出)



温度別配合

外気温 (°C)	ゴムラテパウダー (kg)	ゴムラテ混和液 (kg)
5 ～ 20°C	25kg (1袋)	2.8
20 ～ 30°C		3.0
30 ～ 35°C		3.2

太平洋凝結遅延剤の添加量の目安



*30°C以上では遅延剤が効かない場合があります。その場合は、別途お問い合わせください。

1㎡あたりの標準使用量

ゴムラテパウダー 1,923kg (約77袋)

ゴムラテ混和液 232kg (約13缶) *1 *2

*1. 混和液の使用量は施工時の気温や施工方法により変動します。したがって、標準配合の範囲内で調整して下さい。

*2. ゴムラテ混和液の使用量は3.0kg/袋により算出した数値です。

性能例

試験項目	試験結果	試験方法
圧縮強度 (N/mm ²)	2時間	22.8
	4時間	29.0
	1日	40.3
	28日	44.8
静弾性係数 (kN/mm ²)	28日	25.8
長さ変化率 (×10 ⁻⁶)	28日	-210
コンクリートとの付着強度 (N/mm ²)	28日	2.2
相対動弾性係数 (%)	300サイクル	97.4
中性化深さ (mm)	26週	1.5

上記試験値は厳密に管理された試験室内での代表値です。(環境温度20°Cでの試験代表値)

ご使用になる前に必ずご確認ください

- 本カタログに記載される性能例他の事項は代表的な実験値や調査に基づくものであって、「すべての現場諸条件」に当てはまるものではありません。
- ご使用になる前に、使用の目的や要求性能、および使用される場合の現場諸条件を考慮して、本製品が適正であるかどうかのご検討をお願いいたします。
- 特に、現場において実施されることの多い「圧縮強度」、「付着強度」については、試験体作成時の配合や環境温度、成形方法、試験体寸法や形状、その後の養生条件等により下回る数値を示すことがあります。
- 試験手順については、工事仕様書、発注者仕様書、または関連する指針(案)等をご確認頂き、必要に応じて監督係員と協議して事前に確定しておくようお願いいたします。

施工概要

事前準備

- 劣化あるいは脆弱化した部位を、研りまたは高圧水で完全に除去し、健全なコンクリート面を露出させ、端部の入り隅部はエッジが出るようにカッターを入れて除去してください。
- コンクリート面は十分に清掃して、埃や汚れを取り除き、鉄筋が発錆している場合には、適切な防錆処理を施してください。
- 施工面には「エポキシ系接着剤」等、適切な処理を施してください。
- 練り混ぜに使用するため、施工量に応じてカゴ型ハンドミキサ、傾胴ミキサまたは左官ミキサをご用意ください。

施工

- 1 練り混ぜは混和液を先に投入して行います。遅延剤の添加が必要な場合は、このとき混和液に添加してください。
- 2 練り混ぜは、ミキサを少しずつ回転させながら、パウダーを投入してください。
- 3 水は一切使用せず、軟度調整はゴムラテ混和液 (2.8～3.2kgの範囲内) にて行うものとします。
- 4 練り混ぜ時間の目安はハンドミキサで90～120秒、傾胴ミキサと左官ミキサで180～240秒です。モルタルの練り上がり状況を見て、さらに20～30秒の範囲で練り混ぜてください。
- 5 作業の可使時間は30分を目安に遅延剤を添加してください。練り混ぜ後は出来るだけ早くご使用ください。
- 6 1層目の塗り厚は10mm程度を目安に下地に密着するように施工し、その後の塗り重ねは、追いかけて下地と十分なじむように行ってください。
- 7 翌日以降に塗り重ねる場合は、事前に塗り重ね面に箒目や櫛目を入れてください。また、モルタルが締まる前に金ゴテまたは木ゴテ仕上げにより塗り重ねの最終仕上げを行ってください。止むを得ず塗布面が締まった後にコテ押さえを行う場合は、水をかけての仕上げは避け、ゴムラテ混和液の2～5倍希釈液を50～100g/㎡散布し、仕上げ押さえを行ってください。
- 8 補修後は急激な乾燥を受けないよう、シート等を用いて養生を行ってください。

使用上の留意事項

- 練り混ぜには、必ずゴムラテ混和液を用いてください。
- 外気温が5℃以下の場合は作業を行わないでください。やむを得ず施工する場合は、シート等で覆うほか、ヒーター等による養生を行ってください。
- 施工中および施工後早期に強風、日射、降雨、降雪等の影響を受ける恐れがある場合は、シートで覆う等の養生を行ってください。
- 練り混ぜにはアルミニウム製の羽根は使用できません。絶対に用いないでください。
- ゴムラテパウダーは、雨露等がかからず湿気の少ない場所で、パレット等を敷いて床面から離し、ビニールシート等で覆って保管してください。
- ゴムラテ混和液は、直射日光や凍結による変質・劣化を防ぐため、5℃以上40℃以下で保管してください。
- 廃棄する場合は、硬化後に産業廃棄物として処理業者に廃棄を依頼してください。
- 排水等は、水質汚濁防止法の関連諸法令に従って廃棄してください。
- 亜硝酸リチウムの添加は有害なNOxガスが発生しますので、絶対に行わないでください。

⚠ 安全上の注意事項

- 本製品は、カタログに記載されている方法でご使用ください。
- 本製品は、セメント同様にアルカリ性を示します。ご使用の際は、眼、鼻、皮膚および衣類に触れぬよう保護具（ゴム手袋、保護メガネ、マスク等）を着用ください。
- 誤って眼に入った場合は、直ちに清水にて十分洗浄し、速やかに医師の診察を受けてください。
- 誤って飲用した場合は、直ちに吐き出して、清水で十分洗浄し、速やかに医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着すると肌荒れを引き起こすことがあります。付着した場合は直ちに水洗いしてください。
- 作業後は手洗い、うがいをしてください。
- 詳細な内容が必要な場合は、安全データシート（SDS）をご参照ください。

このカタログに記載の諸性能および諸物性は、環境条件や使用条件などによりカタログと異なる結果を生じることがあります。十分なご検討の上、ご使用頂きますようお願い申し上げます。このカタログの記載内容は、予告無しに仕様や取扱いを変更することがありますので、ご了承下さい。

 **太平洋マテリアル株式会社** <http://www.taiheiyo-m.co.jp>

営業本部 機能性材料営業部

〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー15階 Tel. 03-5832-5217 Fax. 03-5832-5254

北海道支店	〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5-1-3 日本生命北門館ビル	Tel. 011-221-5855	Fax. 011-251-5573
東北支店	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-1-1 大同生命仙台青葉ビル	Tel. 022-221-4511	Fax. 022-267-0208
東京支店	〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー16階	Tel. 03-5832-5241	Fax. 03-5832-5271
中部支店	〒453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤3-1-18 名古屋KSビル	Tel. 052-452-7141	Fax. 052-452-7140
関西支店	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル4階	Tel. 06-7668-6001	Fax. 06-7668-6006
中国支店	〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 三井生命広島駅前ビル	Tel. 082-261-7191	Fax. 082-261-7198
四国支店	〒760-0050 香川県高松市亀井町7-15 セントラルビル	Tel. 087-833-5758	Fax. 087-833-5181
九州支店	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-2-31 第2サンビル	Tel. 092-781-5331	Fax. 092-721-6444